

---

# 振り返れば

もくず

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
振り返れば

【Nコード】  
N4647Y

【作者名】  
もくず

【あらすじ】  
急いでいると大事なものが見えなくなる気がします

「ああ、忙しい！忙しい！忙しい！！」

年末の夕方、あたりはもう暗くなりはじめている。

今日は今年一番の冷え込みだと今朝の天気予報で能天気なキャスターが言っていたが今の俺には寒さを感じる余裕すらない。

道路工事が多く、車で行くより歩いて行った方が早い。そう思ったから会社を出て15分、早足でオフィス街を抜けて行く。運動をしなくなつて久しい体では正直早足ですら息が上がる。

夕方のオフィス街ということもあつてか帰宅途中のサラリーマンもいる。恨めしい。

「なんで俺だけこんな目に・・・」

そんなことを考えている暇は無い。今は急いで相手先の会社へ行かないと。

そう思い直して足に力を入れ直した時だった。後ろの方からやけに大きな足音が聞こえてきた。

「やばいやばいやばい、急がないと！」

一抱えほどの大きさのバッグを抱えてこちらの方へ走ってくるサラリーマンの姿が見えた。

「なんで僕だけこんなに忙しんだよ！」

半ば怒鳴るように叫びながら俺の横を走り去って行く。その勢いに驚き俺はその姿を呆然と見ていた。

「あつ」

何かにつまずいたのかものすごい勢いで転んだ。

俺は慌てて彼のもとへ駆け寄った。他のサラリーマンたちはこちらを気にはしているものの関わり合いになりたくないようであるさつさで行ってしまう。

「おい、大丈夫か！？」

俺の声が聞こえていないのか、彼は立ち上がり再び走りだそうと

していた。

「い、急がないと・・・」

「ちよつと待った。あんた無理はしたらいかん」

彼はようやくこつちを見た。まだ若い青年だった。

「でも、急いでこの書類を届けないと」

「急がないといけないのはあんたを見ればよくわかる。だが、転んで怪我でもしてみろ、もつと遅くなるぞ」

「は、はあ」

「俺も急ぎの仕事があるんだが、あんたを見ていると急ぎすぎてもよくないというのが嫌というほどわかった。急いでいる時ほど冷静になることが大切だ。わかるか？」

「はい、なんとなく」

「なら大丈夫だな、お互いに気をつけて行こうじゃないか」

そう言い残し、俺は歩きだした。彼もあとに続き歩き出した。

俺は今朝の天気予報のあとの星座占いをふと思い出した。

今日のさそり座の順位は8位、キーワードは『急がば回れ』だったと思う。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4647y/>

---

振り返れば

2011年11月17日17時16分発行